



「チョコレート、食べられないの」

2歳半の女の子は5歳半のお姉ちゃんの真似をよくします。

お姉ちゃんが「どうぞ」と言えば「どうぞ」と言い、「これ美味しいよ」と言えば「美味しいよ」と言います。

まねっこをして模倣するかわいい姿です。しかしここにはこんな状況ではこのセリフを言えばいいという学習があるかもしれません。

別の2歳代の男の子ではセリフだけでなく、会話のキャッチボールを学んでいるのかと思える姿が見られました。

「バナナケーキのお替りいりませんか?」というので「今お腹がいっぱいでいらっしゃいます」と返答したところ固まってしまいました。おそらく「はいどうぞ(言いながらケーキを差し出す真似をする)」のセリフしか持ち合わせておらず「ではまた後で」とか「ほしい時に言ってくださいね」などの高度な返答はとてもできなかつたのでしょう。

前述の女の子は「チョコレート食べられないの」とも言います。お姉ちゃんによると「(妹は)まだ小さいからチョコレートは食べられない」そうです。でも目の前にきれいなチョコがあれば躊躇なく口に運ぶかもしれません。2歳児は言葉や会話の意味まで考えきれず、それに伴う行動も理解に及ばないでしょう。とりあえずスタイルから入る、そんなところでしょうか。